

管理所レビュー VOL.01

(R 5. 4. 20 水源林管理所)

令和5年度の第1回ボランティア活動が、4月8日(土)に予定どおり実施されました。

今年度初日の活動開始前には、道志水源林ボランティアの会の村居理事長と今年度から当管理所の所長となった山口水源林管理所長、本庁担当課の鳥山広報課長から日頃の活動のお礼と安全作業のお願いについてのあいさつを受け、今年度のスタートとなりました。

当日は、前日の夜半まで降り続いた雨や微妙な天気予報などにより、林内の状況や天候が心配されましたが、好天に恵まれて、1日を通して安全に作業を実施することができました。

間伐作業は大変危険を伴う作業です。今年度も基本に忠実に安全第一の作業をお願いいたします。それでは、安全活動のための水源林管理所の振り返りなどをお知らせします。

1 活動日の様子



村居理事長のあいさつ



山口水源林管理所長のあいさつ



鳥山広報課長のあいさつ



桜が満開の水源林管理所



好天に恵まれました。



作業前の準備体操をしっかりと！



動滑車を適切に使用しましょう！



重量物の運搬は注意して！



ロープの引手は伐倒木に注目！



複数人での玉切りは声掛けを！



かかり木発生！その後、安全に伐倒することができました。



2 幹の切断方法について（再掲）

林内で立木を伐倒すると、幹が曲がった状態で横たわる場合が多く、その場合は圧縮や引張りの応力のかかった状態となります。応力のかかっている幹の切断（玉切り）は、ノコギリの挟まれなどが起きる場合がありますので、十分注意してください。

◆基本となる切断方法

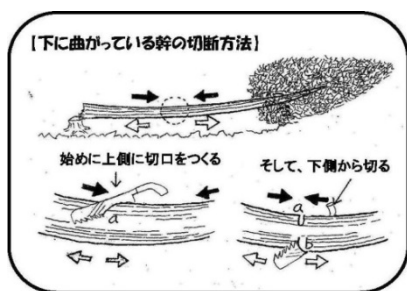
(1) 下に曲がっている幹の切断方法【イラストA】

まず、上側の圧縮されている方に切口を作り、続いて下側から切り進めると幹が徐々に下がりながら切り口が開いていくので、ノコギリを挟まれることなく安全に切断できます。（切り終え時、幹の落下による足の挟まれに注意してください。）

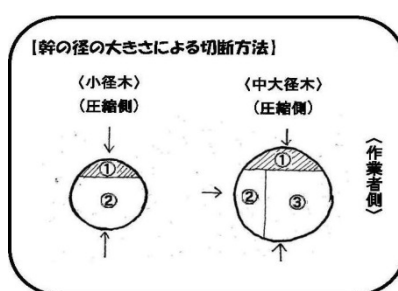
(2) 幹の径の大きさによる切断方法【イラストB】

中大径木では上側①を切り、次に②の部分の切っておくことにより、③を切り進めていくと②の部分の下側が徐々に開き、幹が作業員から離れるように切れていくため、安全です。

(3) 上に曲がっている幹の切断方法は、【イラストA】と逆の切断順序です。



【イラストA】



【イラストB】



幹の状況にあった切断方法を。

3 「道作り」が実施されました。

作業地内の移動効率のアップと安全対策として、既存の作業道を延長しました。

初めて「道作り」に参加する方や経験者の方も久しぶりの慣れない作業で大変だったと思います。お陰様で歩きやすい道ができました。お疲れ様でした！



道作り作業前



道作り作業中



道作り作業後



「道作り」選抜メンバー



道作り作業の様子



道作り作業の様子

※ 次回の第2回活動も5名体制の「道作り班」の編成をお願いします。

※ 4月21日（金）は、晴れのち曇り、最高気温23度、降水確率20%の予報です。

★それでは4月21日（金）、気をつけてお越しください。